

(第2号様式)

泊通第 2947 号  
令和8年 3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立泊高等学校  
校長 知念 賢世  
(公印省略)

### 令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年6月2日	場所	泊高校本館2階4組	出席 状況	職員10名 評議員2名
第2回	日時	令和7年10月27日	場所	泊高校本館2階4組	出席 状況	職員10名 評議員4名
第3回	日時	令和8年2月19日	場所	泊高校本館2階大会議室	出席 状況	職員10名 評議員3名

#### 2 学校評議員に求めた事項

- ①開かれた学校づくりの充実に関する意見、助言
- ②教育課程の充実に関する意見、助言
- ③学習指導、進路指導の充実に関する意見、助言
- ④生徒支援、教育相談の充実に関する意見、助言
- ⑤特別活動の充実に対する意見、助言
- ⑥健康安全に関する充実に関する意見、助言

#### 3 学校評議員の意見

- ①学校での実践が報道等でニュースになり、生徒の活躍と課題を抱える生徒へのきめ細かな支援が伝わっている。素晴らしい活躍をしている背景には素晴らしい支援体制があり、先生方の全ての生徒を救い上げたいという思いが強く感じられる。この取り組みを他校へも発信してほしい。
- ②入学者が増えたことは大変評価できる。
- ③サポートルームを立ち上げたことは良いことであり、これまで以上に外部機関との連携を図ってほしい。
- ④単位修得率が高い状況は、先生方が少人数できめ細やかに指導していることと推察できる。
- ⑤広域通信制希望者が増えている状況があるが、魅力的な学校なので広域通信に負けずに頑張してほしい。

#### 4 学校運営に反映した事項

- ①各部発足職員会議並びに三部合同職員会議等により教育目標・経営方針の周知・共有ができた。また、育成評価面談を活用して取組の確認、教育実践ができた。
- ②懸垂幕の設置、ホームページの更新、新聞記事掲載、対象者別(中学進路担当、適応指導教室、生徒・保護者)の学校説明会を実施し情報発信を強化することができた。
- ③多様な背景を持つ生徒に対し、教育相談、就学継続支援員、SCと連携した支援体制、迅速なケース会議の開催や外部機関と連携しながら学校全体で教育実践ができた。また、「サポートルーム」の運営を行い生徒の居場所づくりに努めることができた。
- ④各部個々の生徒に対応した進路指導の充実に取り組むことができた。

#### 5 課題その他

- ①自己肯定感を育むことができる魅力ある学校づくりの実践
- ②地域資源をうまく活用した社会に開かれた教育課程の実践
- ③教員のキャリア教育への理解促進と更なる資質能力の向上
- ④広域通信制希望者が増えている状況下における公立通信制教育の充実